



# ふくやま 市議会だより



No.61

## 9月定例会

発行 / 福山市議会 編集 / ふくやま市議会だより編集委員会  
発行日 / 2016年(平成28年)11月1日  
〒720-8501 福山市東桜町3番5号  
TEL.084-928-1136 FAX.084-920-1104

●今月の表紙●

耕作放棄再生地への  
にんにくの作付け(山手町)

9月定例会の概要	2
議案の審議結果	3
一般質問	4～10
常任委員会の視察報告	11
議会報告会	12

# 平成28年9月定例会



平成28年9月定例会（9月14日～10月4日／会期21日間）の概要は次のとおりです。

**14日** 市長専決処分、平成27年度健全化判断比率、平成27年度資金不足比率などの報告の後、市長が市政の状況と17議案の提案理由を説明

**21日・23日・26日・27日** 21日に市長専決処分の報告の後、27日まで議案や市政全般について

24人の議員が一般質問

**27日質問終了後** 一般会計などの補正予算案3件は、予算特別委員会を設置して付託、病院事業会計等の決算認定などの4議案は、企業会計決算特別委員会を設置して付託、定例会終了後の10月12日から14日まで審査

それ以外の10議案は、所管の常任委員会に付託

**28日** 4常任委員会でそれぞれ議案等を審査

**29日・30日** 予算特別委員会で議案を審査

**4日** 議案等を審査した4常任委員会と予算特別委員会の委員長から審査結果の報告があり、それぞれの報告について採決し、13件の議案を原案どおり可決

議員提出の意見書案1件を可決

## この定例会で決まったこと

（一部をお知らせします）

### 【市長提出議案】

#### ■補正予算

○ 6月の大雨による災害復旧への対応として、道路や河川農道、ポンプ場などの復旧・改修工事、倒木処理、被災者への災害見舞金など災害関連経費



豪雨により路肩が崩れた市道(津之郷町)

○ 10月1日から定期予防接種となるB型肝炎の予防接種費

○ 介護事業所職員の負担軽減のため、移動支援などを行う

介護ロボットの導入に対する助成



※マッスルスーツの使用イメージ

○ 内海町、草戸町など4カ所の地域集会所の改修など

#### ■条例

○ 社会福祉法の一部改正に伴い、市社会福祉審議会において調査審議できる事項に精神障害者福祉に関する事項を追加します。（社会福祉審議会条例の一部改正）

### 議員提案により可決した意見書

福山市議会 の意思として、その実現に向け、国会および関係機関に送付しました。  
 詳しい内容は、議会のホームページでご覧いただけます。

◆次期介護保険制度改正における福祉用具、住宅改修の見直しに関する意見書

### 平成28年9月定例会 議案の審議結果一覧

○は賛成、×は反対

付託委員会	議案名	水曜会	公明党	誠友会	日本共産党	市連	民合	新クラブ	無所属		採決結果
									1	2	
総務	税条例等の一部改正	○	○	○	×	○	○	○	○	○	可決
	国民健康保険条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	財産の取得	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	異議申立てに係る諮問	○	○	○	○	○	○	○	○	○	答申
民生福祉	社会福祉審議会条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例等の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
文教経済	(仮称) 深品中継施設建設工事請負契約締結の変更	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
建設水道	風致地区内における建築等の規制に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	水道事業、工業用水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	市道路線の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
予算特別	平成28年度一般会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	平成28年度水道事業会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	平成28年度下水道事業会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
委員会付託省略	次期介護保険制度改正における福祉用具、住宅改修の見直しに関する意見書案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

賛否は、本会議後に会派等に確認したものです。議案名の「福山市」等は一部省略して表記しています。



決算特別委員会

す。告を行いま  
 で委員長報  
 7日に開催  
 時(11月  
 の結果は臨  
 した。こ  
 ことに決定  
 を認定する  
 として、それ  
 会として、それ  
 行い採決し決  
 算特別委員  
 会について討  
 論を行いました。  
 14日には、それ  
 されているかな  
 などを審査し  
 ました。12日  
 に帳簿等の書類  
 審査を行いました。

平成27年度企業会計決算を審査  
 9月定例会に提案された  
 平成27年度の企業会計(病  
 院、水道、工業用水道、下  
 水道の各事業会計)決算認  
 定議案を企業会計決算特別  
 委員会(委員18人)を設置  
 し、10月12日から14日まで  
 審査しました。

# 一般質問

この定例会では、議案や市政全般について、24人の議員が一般質問を行い、活発な議論を展開しました。

その概要は、次のとおりです。  
（一）内には、各党派等からの質問申し出時間を記載していません。

党派名など	質問者数	質問時間
水曜会	7人	370分
公明党	6人	205分
誠友会	3人	150分
日本共産党	2人	145分
市民連合	2人	145分
新政クラブ	2人	100分
無所属	2人	各30分

\*一般質問の録画放送を福山市のホームページで見ることができます。



早川 佳行  
水曜会  
(50分)

## 「100人委員会」の取り組みの具体は

**問** あらゆる世代の市民がまちづくりに向けたさまざまな課題について、構想の段階からまちづくりに参画してもらうための「100人委員会」の取り組みの具体は。

**答** 市民の皆さまの幸せの実現

と次の世代に輝く福山を創るためには、市民に身近な市政を行う必要がある。あらゆる世代の市民の皆さまと共に考え、議論し、問題意識を共有する中で市民が望むまちづくりにつなげていくため、新たに100人委員会を立ち上げるものである。

現在、部局横断的な体制で、委員会の仕組み、運営方法などについて先進地調査を実施するなど具体について検討をしている。年内にはこの取り組みがスタートできるようスピード感を持って取り組んでいく。



小林 茂裕  
水曜会  
(60分)

## 芦田川河口堰の弾力的な開放を

**問** 芦田川を市民の憩いの場にするためにも、豊かな海づくりのためにも、河口堰を開放すべきである。河口堰の弾力的開放についてどう考えるか。

**答** 河口堰は治水対策に合わせた塩害防止や工業用水を供給する機能を有しており、渇水時には河

口堰の貯留水を有効活用できるなど、市民生活や経済活動にとって重要な施設である。開放により河口湖内に塩水が侵入し工業用水が供給できなくなる恐れがあり、開放に当たっては多くの課題がある。現在、豊かな海づくりに向け、下水道処理施設などで栄養塩の管理運転をしているが、今後とも環境と漁業に対し好影響を与えるよう、河口堰の弾力的放流回数増加や放流方法について、国や関係機関との協議を続け、諸課題について整理していく。



高田 健司  
水曜会  
(50分)

## 中心市街地の活性化と都市の魅力向上への具体的な取り組みは

**問** 都市の「顔」づくりの具体と、伏見町などの再開発に対する庁内組織の体制、行政主導の取り組みは。

**答** 福山駅前、高度な都市機能を持ちつつも、若者や女性の視点なども取り入れたさまざまな機

能を有し「住む、観る、憩う、学ぶ、働く、集う」ことのできる都市の顔となるように整備しようとするものである。伏見町などの再開発については、中心市街地活性化の軸であることから、スピード感を持って取り組んでいく必要がある。そのため、建設局長の下、まちづくりの整備方針の作成や、地権者の合意形成など、事業の具体を推進する組織として、(仮称)福山駅前再生推進室を早急に立ち上げる。また、知事との合意に基づき、県、国にも参加してもらう形で協議する場を新たに設ける。

\*9月定例会の一般質問の録画放送を見る場合

福山市のホームページ → 福山市議会 → 議会中継 → ここからご覧ください。



熊谷 寿人  
水曜会  
(50分)

**子どもの医療費助成制度の現状は**

**問** ①本市の助成対象年齢は。②備後圏域5市2町の状況は。③「子どもの医療制度の在り方等に関する検討会」の議論の内容は。④国保に対するペナルティーについては。

**答** ①通院は就学前まで、入院は小学生までが対象。

②通院は小学生までが1市、中学生までが5市町、高校生までが1町。入院については中学生までが6市町、高校生までが1町である。③子どもの医療費については、統一的な基準を示す必要がある。また、国民健康保険の国庫負担のペナルティーについては、早急に見直すべきとの意見がある。④乳幼児医療費助成をはじめとする福祉医療の助成制度による本市への影響額は、約9200万円(平成26年度決算)である。



連石 武則  
水曜会  
(60分)

**活力ある産業づくりと防災について、市長の考えを問う**

**問** ①選挙公約の福山北産業団地Ⅱ期工事の着工は。②福山沼隈道路の今後の予定は。③福山リサイクル(RDF)発電事業の今後の方向性は。④「防災先進都市福山」実現の方策は。

**答** ①平成21年策定の基本計画を修正し、事業費の見直し等を今年度中に行う。

②芦田川右岸側の橋梁下部工および瀬戸町の改良工事等に着手し、引き続き、早期完成に向けて国、県と連携していく。③平成35年までの事業延長を考えている。新たな処理施設体制の構築に向けた整備計画は審議会の議論を踏まえる中で策定していく。④特に共助を強化することで、自助、共助、公助の効果的な連携を実現し、防災の効果を高める。



喜田 紘平  
水曜会  
(50分)

**教育行政・子どもたちへの支援体制は**

**問** ①本市独自の留学制度の創設内容は。②学校再編についての考えは。③学校の耐震化は。④中学校の給食実施は。⑤放課後児童クラブの拡充は。

海外の先進都市などへ留学するための支援を行い、地域社会を支える人材を育てていく視点で検討し県などに協力を働きかける。

②学校再編の考え方を保護者や地域に丁寧の説明し、再編後も地域力が生かされるよう取り組む。③耐震補強工事の前倒しを検討する。④市内中心部での試行を早期に行い課題などを検証する。給食実施の効果が全ての中学生に及ぶよう早期の完全実施に向け取り組む。⑤平成31年度までに量的拡充や質的向上を図る。



大田 祐介  
水曜会  
(50分)

**福山城築城400年記念事業への取り組みは**

**問** 特に再建から50年を経た鉄筋コンクリート製の復興天守閣の今後の活用見通しは。

この中で石垣の修復や樹木整備による景観の復元など、築城400年までに行う整備と、その後の長期的な整備の在り方についても示したい。

特に築城400年に向けた天守閣の活用の在り方については、まず天守閣などの耐震診断を行った上で、今後の具体について検討する。全国に福山城の歴史が持つ魅力を発信できるよう全庁体制でハード、ソフトの両面から記念事業に取り組み、築城400年を盛り上げていきたい。



**塚本 裕三**  
公明党  
(30分)

**市長選挙の結果は**

**問** 市長選挙の投票率および投票結果について市長の受け止めは。

**答** 選挙では私の思い描く福山の未来像について訴えてきたが、投票率が36・06%、得票率は52・85%であり、必ずしも全ての人に私の思いが伝わったとは言えない



**門田 雅彦**  
公明党  
(30分)

**中心市街地の活性化と都市の魅力向上への考え方は**

**問** 11ヘクタールに及ぶ福山駅南地域は、国に都市再生緊急整備地域として指定されてから12年が経過しているが、再開発の考え方は。

**答** 福山駅前広場に面した伏見町や旧キャスパは、中心市街地活

結果であった。

私は、投票行動に結びつかなかった有権者の64%弱に相当する市民の皆さま方の思いも含め、多くの市民の皆さまの思いをしつかりとくみ取り、これからの市政運営に当たっては、現場主義に徹し多くの市民の皆さまの声に耳を傾け、その声を行政の施策に反映していく。



性化の軸として位置付けており、回遊性の向上やにぎわいの創出を図るためには、早急に再生が必要であると認識している。

また、大規模な商業施設にとらわれることなく、幅広い世代の「みずみずしい感性」や「さまざまな発想」が集まり、まちづくりに関わる仕掛けをつくることが重要と考えている。

都市の「顔」としての、まちづくりの仕組みを、国や県、大学、専門家、金融機関等と連携して構築していく。



**中安加代子**  
公明党  
(30分)

**福山版<sup>※</sup>ネウボラは**

**問** ①産前・産後サポート事業のニーズ調査の分析結果は。  
②現在検討している支援事業は。  
③備後圏域での連携は。

**答** ①産前・産後に不安や負担を感じた産婦は73・3%で、その内容は上の子との育児の両立、授乳のトラブル等であった。

また、産後に受けたいサービスは、訪問による育児や授乳の相談母親同士が会って話せる場の提供一時預かり、日帰りサービス、ヘルパー派遣による家事援助、宿泊サービスとなっている。

②産科医療機関や助産師等による産後ケア事業、ヘルパーによる家事支援などの事業を予定している。  
③6市2町の中では、医療機関などを互いに利用し合う場合が多いため、統一的な事業展開を検討している。



**生田 政代**  
公明党  
(25分)

**病児保育の現状は**

**問** 病児保育は、市内に居住する0歳から小学6年生までの児童が病気または、病気の回復期で集団保育が困難な期間、医療機関に付設された専用施設で保育し、子育てと就労の両立を支援することを目的として、現在4医療機関で実施されている

が、病児保育の現状と課題は。

**答** 現在定員は、3施設は6人1施設は4人。利用者数は年々増加しており、さらなる定員の拡充が必要である。医療機関での実施が進まない理由は、小児科医の不足に加え、本事業に従事する看護師や保育士の確保が困難であることが挙げられるが、本年4月から職員の配置要件が緩和されたことにより、定員の拡充に期待している。

市外の居住者の利用は、施設の利用状況を勘案する中で受け入れられている。

※ネウボラ：フィンランド語で「助言の場」を意味し、フィンランドの子育て支援制度や施設を指す。日本版では、妊娠から出産、育児の切れ目のない相談支援のシステムのこと。



奥 陽治  
公明党  
(40分)

**防災についての取り組みは**

**問** ①防災対策の基本的な考えは。

②大雨災害への今後の対応は。  
③避難行動要支援者の避難と福祉施設の避難体制は。

**答** ①自助、共助、公助の役割分担と連携が重要で、防災大学で人材育成するなど地域防災力向上



宮本 宏樹  
公明党  
(50分)

**空き家対策の取り組みは**

**問** ①危険な空き家への対応は。

②空き家所有者へのアンケート結果による今後の展開は。

**答** ①危険な空き家等の情報を得た場合、現地確認を行い、所有者に対し適切な措置を行うよう指導している。

に努めてきた。今後、防災リーダーを組織化し、リーダー間の連携強化により「防災先進都市福山」の実現をめざす。

②瀬戸川の河床掘削や水位監視体制の構築などハード、ソフト両面から対策を検討している。

③避難行動要支援者には、共助による避難支援を推進し、福祉施設においては、各施設での避難訓練の実施と地域の防災訓練へ参加するなど迅速に避難できる体制づくりに取り組む。

②空き家所有者に対する相談体制の充実や、民間関係団体との連携を通じた幅広い情報発信など、空き家の発生抑制や適正管理、地域資源としての有効利用の促進に向け取り組む。

**給付型奨学金の創設は**

**問** 給付型奨学金の創設とその取り組み状況は。

**答** 大学等への受験や入学が困難な青少年に対し、一定の条件を満たせば返還を免除する実質給付型の青少年修学応援奨学金を創設し、10人に貸与決定した。



能宗 正洋  
誠友会  
(50分)

**豪雨災害の整備と地震防災対策は**

**問** 6月の集中豪雨により被災した芦田町内の国庫補助の対象となる災害復旧工事は。

**答** 農林災害が3件、土木災害が11件。土木災害は、国の災害査定が完了し、補正予算の成立後直ちに工事着手する予定である。



平松 正人  
誠友会  
(40分)

**孤立を防止するための見守り支援活動は**

**問** 高齢者、もしくは一人暮らしの方が、孤立した生活に陥らないための行政の積極的な見守り支援活動の取り組みは。

**答** 地域包括支援センターを核として関係機関、団体などと連携し、地域でつながり支え合う協働

農林災害は、10月下旬以降を予定している災害査定完了後、工事着手する。

**問** 起震車導入による疑似体験は。

**答** 地震発生時の初動の重要性を知る上において、一定の効果はあると考えている。

市民の皆さまが、起震車による地震の揺れを体験できるよう、国や他の自治体と連携して、実施できるように検討していく。

の取り組みをさらに進めることで孤立や孤独死の防止に努める。

**スポーツ振興への取り組みは**

**問** オリンピック出場を夢見ている子ども達の育成への考えは。

**答** トップアスリートを育成するには、関係機関が連携した長期的な取り組みが必要であり、そのためには、スポーツ団体、経済界など、多様な機関が一体となった支援が必要で、その方策を検討していく。



徳山 威雄  
誠友会  
(60分)

### 福山城の整備と私は

**問** 福山城の整備を進めるとの見解であるが、平成34年の築城400年に向けて、整備の方針と市長の福山城にかける思いは。

**答** 史跡福山城跡を将来にわたって適切に保存活用するため「史跡福山城跡保存活用計画」を



福山城

国に発信できるように、全庁体制で築城400年記念事業に取り組み盛り上げたい。

取りまとめる。この中で、例えば石垣の修復や樹木整備による景観の復元など築城400年までに行う整備と、その後の長期的な整備の在り方を示す。特に福山城整備は、天守閣などの耐震診断を行い今後の具体を検討していく。



村井 明美  
日本共産党  
(73分)

### 同和関係施策の終結を求める

**問** 部落差別の解消の推進に関する法律案が衆議院に提出されたが、継続審議となっている。国は地方公共団体の協力を得て実態調査を行うおとししている

が、政府や自治体が新たに部落および部落民を選別することとなり、重大な人権侵害となる。

**答** 国に対して同法を策定しないことを強く求め、福山市も同和関係施策の終結宣言を行い、一日も早く「同和」の痕跡を消滅させることを求める。

**問** この法案は国において議論されており、今後の動向を注視する。

**答** 本市は引き続き市民一人一人の人権が尊重される「人間環境都市」をまちづくりの基本理念とし、人権施策基本方針に基づいて、同和問題をはじめとするさまざまな人権問題の解決に取り組んでいく。



土屋 知紀  
日本共産党  
(72分)

### 特別支援学校の増設を

**問** ①福山北特別支援学校では、小学部、中学部、高等部ともに入学者数が年々増加し、教室が不足。急速な過密化のためさまざまな弊害が生じているが認識は。

②本市は、子ども発達支援センターを開設、市立大学には教育

学部が創設され、障がい児保育・教育に力を入れている。それらの諸条件を有効に生かし、県と連携し、市内に特別支援学校の増設を求める。

**答** ①在籍児童生徒数が増加していることは承知している。

②教育委員会としては、市独自で特別支援学校を設置する考えはないが、引き続き特別支援学校や県教育委員会と連携していく。



川崎 卓志  
市民連合  
(75分)

### 6月のような大雨災害が二度と起こらないための対策を

**問** 6月20日から23日の大雨

によって特に瀬戸川流域の山手町および津之郷町などにおいても河川が溢れ住宅街が広範囲に浸水し大きな被害が出た。被害復旧と併せ再度このようなことにならない対策を講じること。

**答** 瀬戸川流域における浸水については、有識者や国、県、市などの関係機関で構成する「瀬戸川流域における治水対策検討会」において、浸水要因の分析や「再度災害」を防止するための対策についてハード、ソフト両面から検討しており、10月中旬を目途に検討結果をまとめる予定。被害の早期復旧とともに、対策に取り組む。



瀬戸川流域における治水対策検討会

しており、10月中旬を目途に検討結果をまとめる予定。被害の早期復旧とともに、対策に取り組む。



西本 章  
市民連合  
(70分)

**本市の児童虐待への対応は**

**問** 市として児童虐待の現状をどう捉え、どのような対応をしているか。

**答** 児童相談所における相談、通告件数の増加については、児童虐待そのものが増えたことに加え児童虐待に対する意識の高まりによるものと捉えている。

児童虐待が起きる背景としては子育て家庭の孤立化や経済的困窮など、さまざまな要因がある。

市では、虐待の相談、通告を受けた場合、早急に子どもの安否確認を行い、状況に応じて東部子ども家庭センターと連携を図るなかで、被害児童の早期保護に努めている。



※オレンジリボン



大塚 忠司  
新政クラブ  
(60分)

**福山駅北口広場の整備を**

**問** 福山駅北側は福山城、美術館など文化施設が集積し、現在は外国人観光客誘致の取り組みも始まり、一層の環境整備が必要である。特に福山駅北口広場周辺は、朝夕のピーク時に送迎車等の交通で、雑然とした状況にある。

観光客の誘致を進める上で、にぎわいの創出や見せる景観も考慮し、広場全体の見直しをしようか。

**答** 福山城築城400年に向けた取り組みや、福山駅前の再生に取り組む中で、北口広場から福山城に至るエリアが歴史と文化の薫る本市のもう一つの「顔」となるよう、事業効果や優先順位をしっかりと検証しながら、福山駅前との一体性も考慮しつつ、検討する。



八杉 光乗  
新政クラブ  
(40分)

**通学路における交通安全対策は**

**問** ①通学路交通安全プログラムが策定されて2年が経過したが、成果と課題は。

②対策内容の改善、充実には、危険箇所事情に精通した幅広い方々の意見が必要では。

**答** ①それぞれの危険箇所の状況に応じて、関係機関、団体、地

域が協力して取り組みを進めることで実施率は74%を超え、短期間に幅広く多様な改善が図られた。課題としては、水路の蓋掛や柵の設置等を行うことが地域住民の利便性の妨げとなる場合や、道路

拡幅に必要な土地が確保できないなど対応が困難となる場合がある。②合同点検は、学区自治会連合会等と連携し実施しているが、危険箇所によっては、その地域の事情に精通した住民の方の協力をお願いするなど、地域の皆さまと幅広い連携を図っていく。



岡崎 正淳  
無所属  
(30分)

**支所機能の在り方は**

**問** 市長選挙では支所の機能や権限も争点となった。これまでに地域内分権の議論や施設整備を進めてきたが、支所の役割や機能の在り方に関する考えは。

**答** これまで市民に身近な業務は支所で行い、本庁に集約することで効率化が図れる業務は本庁集

約し体制整備を行ってきた。平成20年度から拠点支所を整備し、支所長に地域施策の企画立案や協働のまちづくりの総合調整機能などの権限移譲、地域振興課に生涯学習部門を統合し、まちづくりと人づくりを一体的に行っている。

今後は、拠点支所以外の支所を含め、各支所が核となり地域住民や団体のニーズ把握と活動支援を行い、協働のまちづくりのさらなる発展に取り組む。

※オレンジリボン：「子ども虐待のない社会の実現」をめざすオレンジリボン運動のシンボルマーク。オレンジ色は、子どもたちの明るい未来を表している。

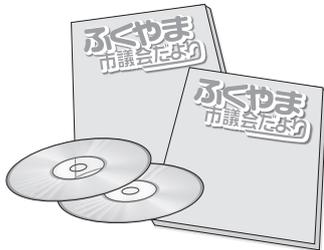
※拠点支所：地域内分権、協働のまちづくりおよび総合的な行政サービスの推進のため、保健福祉や建設産業等の部門を有し、支所判断による地域特性を生かした行政運営を行うことができる支所（松永、北部、東部および神辺の4支所）。

## 市議会だよりの音声版 CD 点字版冊子のご案内

目の不自由な方のために、市議会だよりの内容をデジタイズ録音したCD、点字に翻訳した冊子を作成しています。

ご希望の方は、議会事務局までご連絡ください。☎084-928-1136

※デジタイズ録音したCDを聞くためには、専用の再生機、または再生用ソフトの入ったパソコンが必要です。一般に市販されているCDプレイヤーでは再生できません。



石岡 久彌  
無所属  
(30分)

### 今回の市長選挙の投票率への受け止めは

#### 問

① 一般の市長選においてなぜ投票率は低かったのか。

② 投票率向上の必要性はないのか。

③ 今後いかにしたら投票率を向上させることができるか。

#### 答

① 投票率の低さは有権者の

政治離れが進んでいるからと考えている。

② 選挙は有権者が政治に参加する最も重要かつ基本的な機会であり積極的な投票参加は民主政治の健全な発展のため欠かすことのできないものと考えており、継続して主権者教育等に取り組んでいく。

③ 投票率向上の方策は、多くの市民の声に耳を傾け、その声を行行政の施策に反映させるとともに、市民の皆さまと一緒に、市制施行100周年後の新たな未来づくりに取り組むことが投票率の向上につながると考える。

## 11月臨時会・12月定例会の開催予定

11 / 7 (月)	★本会議 (市長提案説明など)	12 / 8 (木)	★本会議 (一般質問)
	決算特別委員会 (書類審査)	9 (金)	★本会議 (一般質問)
8 (火)	決算特別委員会 (書類審査)	12 (月)	★本会議 (一般質問)
9 (水)	決算特別委員会 (質疑)	13 (火)	★本会議 (一般質問など)
10 (木)	決算特別委員会 (質疑)	14 (水)	常任委員会 (総務、民生福祉、文教経済、建設水道)
11 (金)	決算特別委員会 (質疑・討論・表決)	15 (木)	予算特別委員会
22 (火)	常任委員会 (総務、民生福祉、文教経済、建設水道)	16 (金)	予算特別委員会
12 / 1 (木)	★本会議 (市長提案説明など)	20 (火)	議会運営委員会
6 (火)	議会運営委員会		★本会議 (委員長報告など)

○本会議・委員会とも午前10時から開会の予定です。(ただし、12月20日の本会議は午後1時からの予定。)

○★印の日は、本会議の生中継をインターネット配信します。

○詳しくは、議会事務局までお問い合わせください。☎084-928-1136

**総務委員会 (8月2日～4日)**

豊田市：投票率向上の取り組みについて  
品川区：自治会加入促進の取り組みについて  
いわき市：防災体制整備について

豊田市は、直近の選挙においても投票率65・5%と高く、選挙啓発として大学のゼミ生が企画し、主に小学生を対象に選挙出前トークを大学生自らが実施しています。品川区は、条例を制定して、町会および自治会を良好なコミュニティの維持と形成に関して、区と協働する最大の相手方であると宣言しており、町会による加入申込書（返信はがき）の配布も斬新です。

いわき市は、東日本大震災の経験から①最大規模災害を想定した対策実施②自助・共助による地域防災向上等に取り組んでおり、本市の防災対策の参考になりました。



豊田市

**民生福祉委員会 (7月20日～22日)**

大津市：大津方式（発達障がい対策）について  
江戸川区：ひとり親家庭学習支援事業について  
郡山市：手話言語条例の制定について

大津市では「大津方式」と呼ばれる発達障がいのある子どもが健やかに成長するための切れ目のない支援に早くから取り組まれており、大きな感銘を受けました。

江戸川区では、ひとり親の貧困世帯における負の連鎖を断ち切るべく、それまでの経済支援に加えて、子どもの学力向上のため無料で学習支援などを行っています。

郡山市では、いち早く手話言語条例を制定し、実効的施策を展開されており、ICTを活用したコミュニケーションツールの導入は先進的な取り組みで、参考にになりました。

(委員長 藤原 平)



郡山市

**任会の報告  
常任委員視察**

**文教経済委員会 (7月15日～17日)**

金沢市：「ほんものの歴史文化を体感する旅」企画発信について  
金沢の文化の人づくり助成について

荒川区：タブレットPCの全小中学校導入について  
町田市：創業支援事業について

金沢市は、伝統文化の力は人であり、観光コーディネートに関わる人材育成を進め、企画力向上をめざした取り組みを進めています。

荒川区は、全小中学校へ「タブレットPC」を導入し、授業での実験経過の蓄積や情報活用などで、活発な学習に役立てていました。

町田市は、「町田新産業創造センター」を設立し、意欲的な事業者に販路拡大、経営相談など多面的な支援で、独創的な企業の創出をめざしていました。いずれも先進的で、本市での取り組みの参考になりました。

(委員長 大塚忠司)



町田市

**建設水道委員会 (7月19日～21日)**

横浜市：川井浄水場再整備事業について  
浦安市：市街地液化化対策について  
近江八幡市：風景づくり事業について

横浜市は、川井浄水場の再整備事業では、PFI手法を採用し、設計・建設期間が5年間、運転・維持管理期間が20年間で、総事業費は約277億円（税込み）ということでした。位置エネルギー（導水残圧・有効落差）を利用した膜ろ過方式を採用し、既存の浄水処理施設を稼働しながら更新工事が行われました。急速ろ過方式に比べて建設費、維持管理費、薬品使用量の削減などコストの縮減が図れたそうです。民間の技術力やノウハウの蓄積を最大限に活用した、PFI手法導入について、参考になりました。

(委員長 門田雅彦)



浦安市

# 議会報告会のご案内

市議会では、次の日程で議会報告会を開催します。

議員が議会の仕組みなどを説明するとともに、意見交換会では今後の市政に生かしていくため皆さまからのご意見をお伺いします。

どの会場でもご参加いただけます。多くの皆さまのご参加をお待ちしています。

※手話通訳、要約筆記があります。

## 【報告会の内容】

- ①議会の仕組み                      ②スポーツによるまちづくり                      ③里山里地の再生・保全活動
- ④教育環境の整備                      ⑤公共施設の再整備                      ⑥意見交換会

月	日	曜日	時間	会場	ブロック名	担当班
11	14	月	19:00~20:30	福山市役所本庁舎 3階大会議室	中央東	1
	15	火	19:00~20:30	福山市役所本庁舎 3階大会議室	中央西	2
	17	木	19:00~20:30	東部市民センター 大ホール	東 部	3
	18	金	19:00~20:30	西部市民センター 大会議室	西 部	4
	21	月	19:00~20:30	人権交流センター ホール	西 南	1
	22	火	19:00~20:30	ぬまくま市民交流センター 市民交流室	南 部	2
	24	木	19:00~20:30	北部市民センター 多目的ホール	北 部	3
	25	金	19:00~20:30	神辺文化会館 小ホール	神 辺	4

班のメンバーは次のとおりです。

(◎班長、○副班長)

班	名 前							担 当 ブロック名
1	◎高田 健司 岡崎 正淳	○大田 祐介 土屋 知紀	宮本 宏樹 中安加代子	八杉 光乗 早川 佳行	能宗 正洋 川崎 卓志			中央東 西 南
2	◎稲葉誠一郎 榊原 則男	○瀬良 和彦 西本 章	石口 智志 熊谷 寿人	石岡 久彌 高木 武志	生田 政代			中央西 南 部
3	◎池上 文夫 河村 晃子	○塚本 裕三 連石 武則	宮地 毅 五阿彌寛之	神原 真志 宮地 徹三	平松 正人 徳山 威雄			東 部 北 部
4	◎村井 明美 門田 雅彦	○今岡 芳徳 藤原 平	喜田 紘平 大塚 忠司	奥 陽治 法木 昭一	木村 秀樹 小林 茂裕			西 部 神 辺

## 編集後記

日を追うごとに葉が色づき、山々が彩られる美しい季節となりました。

9月の定例議会は、枝廣新市長による次の100年に向けた新たな10ページを刻むスタートの議会でした。

これからいろいろな政策で彩り、にぎわいのある福山市になるよう私たち議員も全力で討論を重ねてまいります。

これからも市民の皆さまが、より市政に関心を持っていただける「ふくやま市議会だより」になるよう紙面づくりに取り組めますのでご期待ください。

(宮地 毅)



この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

【ホームページアドレス】 <http://www.city.fukuyama.hiroshima.jp/site/gikai/>

【メールアドレス】 [giji-chousa@city.fukuyama.hiroshima.jp](mailto:giji-chousa@city.fukuyama.hiroshima.jp)

